

新型コロナウイルスワクチン接種体制について

札幌市の接種対象者（当面は16歳以上）：173万人 ※うち高齢者は54万人 R3.1.1住民基本台帳より

月	週	2月					3月					4月				5月		6月～
		1週	2週	3週	4週	5週	1週 (4/5～)	2週 (4/12～)	3週 (4/19～)	4週 (4/26～)	1週 (5/3～)	2週以降 (5/10～)	—					
医療従事者向け	・国	1回目	500箱	500箱		200箱	200箱				1,200箱	1,200箱			●5月前半までには、医療従事者等が約480万人となると見込んでも、必要量の配送を完了できる見込み			
		2回目				500箱	500箱				200箱	200箱						
	・道		25箱	25箱		25箱	25箱											
	・札幌市		23箱 (23箱=22,425回/11,212人分)				23箱 (予定)											
	①医療従事者等優先接種 (8万人想定)	3月上旬から接種開始済																
高齢者向け	・国							●100箱 (97,500回/48,750人分)	●500箱 (487,500回/243,750人分)	●500箱 (487,500回/243,750人分)	●1,741箱	●4,000箱程度 (5/9までに出荷予定)		●5月は毎週9,188箱供給見込 5/10の週以降、順次出荷		●6月は5月上回る供給が見込まれ、6月末までに、高齢者2回接種分を配布できる量を供給見込み		
	・道						●2箱 (1,950回/975人分)	●10箱 (9,750回/4,875人分)	●10箱 (9,750回/4,875人分)	●179箱 全市町村に1箱ずつ								
	・札幌市						●1箱 (975人の1回目)	札幌市は配分無し		●1箱 (975人の2回目)	※以降は未定							
	②高齢者施設入所者・従事者 (入所者5.6万人・従事者3万人想定)												4月はワクチン供給量が少量なため、一部の高齢者施設の入所者・従事者向けの接種に使用					
③その他高齢者 (48.4万人想定)												ワクチン供給量に応じ、個別接種・集団接種を開始						
④基礎疾患を有する方（高齢者除く） (17万人想定)												※未定						
⑤16歳以上64歳以下 (91万人想定、上記①～④除く)																		
札幌市の取組	個別接種 (かかりつけ医等による接種)	個別接種の実施に向けた準備 ●実施医療機関拡充のため各医療機関への働きかけ ●高齢者施設等入所者の接種調整																
	集団接種会場	会場の選定、医療従事者の調整、運営方法の検討																
	接種券の送付	当初の接種券送付期間 → 国が当初想定していた送付時期から延期 → 接種券送付 (ワクチン供給量に応じた年齢区分による発送を想定)																
	専用コールセンター	●2/1 お問い合わせセンター開設																
	ワクチン配送センター (ディープフリーザー未設置の医療機関に配送)	●3/15 ワクチン配送センター設置																

① 4月は多床室のある高齢者施設の一部で接種を実施

4月に供給されるワクチンは、感染した場合に特に重症化リスクが高い、高齢者が集団生活する施設入所者・従事者への優先接種に使用する（4月は5施設）。

② ①以外の高齢者への接種は早くも5月以降開始

4月に札幌市に供給される高齢者向けのワクチンは2箱（1,950回/975人分）と高齢者54万人の1%にも満たない数量（975人分÷0.0018%）のため、高齢者向けの個別接種・集団接種を、早くも5月以降の開始とする。

③ 接種券の送付は当面見合わせ

接種券は、国の想定では当初3月上旬の発送が予定されていたが、今後はワクチンの供給量を見極めながら、段階的に発送することを視野に入れつつ、混乱が生じないように接種券を発送する。